

## 皮膚腫瘍と腫瘍随伴マクロファージの研究

### 研究協力をお願い

当教室では「皮膚腫瘍と腫瘍随伴マクロファージの研究」という研究を中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

### 1. 研究の対象

この研究は、2017年1月1日から2022年12月31日までに日本医科大学付属病院皮膚科にて、皮膚の良性腫瘍あるいは悪性腫瘍（色素細胞母斑、粉瘤、皮膚有棘細胞癌、悪性黒色腫、基底細胞癌等）のために生検あるいは手術治療を受けた患者さん。

### 2. 研究の目的

皮膚腫瘍のまわりには、マクロファージという炎症細胞がたくさんいることが知られています。本来、多くの場合、皮膚に腫瘍ができると、炎症細胞はそれらを除去しようと腫瘍細胞を攻撃します。しかし、皮膚の悪性腫瘍では、このマクロファージが逆に癌の成長や転移を助ける働きをすることが報告されています。しかし、そのメカニズムについての詳細は明らかになっていません。

本研究では、皮膚腫瘍における腫瘍随伴マクロファージの性質について明らかにすることを目的といたします。

### 3. 研究の方法

この研究は日本医科大学統御機構診断病理学教室を研究代表機関とする多機関共同研究で、研究代表者および研究事務局は日本医科大学統御機構診断病理学助教・皮膚粘膜病態学大学院生の山田麻以です。他の参加研究機関は日本医科大学付属病院（研究責任者：堂本裕加子）です。

2017年1月1日から2022年12月31日までに日本医科大学付属病院皮膚科にて、皮膚のできもの（皮膚腫瘍）のために生検または手術治療を受けた患者さんの組織検体および病理組織標本を使用し、免疫染色やタンパク質の解析を行い、炎症細胞の種類や癌の成長との関係、またそのメカニズムについての検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から2027年3月31日までです。

本研究は、外部機関との利益相反はありません。

### 4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：生検・手術時に切除した皮膚組織等（病理組織標本、パラフィン包埋検体、凍結検体、電顕検体）

情報：年齢、性別、問診や診察所見、疾患名、既往歴・合併症、処置・手術・投薬等の治療内容、放射線画像（CT、MRI、核医学検査）、血液検査・生理検査・尿検査データ等

提供を開始する予定日：研究機関の長の実施許可日

利用を開始する予定日：研究機関の長の実施許可日

試料・情報の提供を行う機関：日本医科大学付属病院（院長：汲田伸一郎）

試料・情報の提供を受ける機関：日本医科大学（学長：弦間昭彦）

試料・情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する試料・情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、日本医科大学統御機構診断病理学の大橋隆治が教授室のインターネットに接続されていないパスワードのかかったパーソナルコンピュータに保管し、あなたの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄します。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

## 5. 問い合わせ先窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、試料・情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 病理診断科 堂本裕加子

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24349

メールアドレス：[y-domoto@nms.ac.jp](mailto:y-domoto@nms.ac.jp)